

リード社、7展示会を同時開催

次世代エネルギーに関する総合展「スマートエネルギー Week 2012」が2月29日～3月2日の3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟及び西展示棟で開催された。展示会場を「水素・燃料電池展」「太陽電池展」「太陽光発電システム施工展」「二次電池展」「スマートグリッド EXPO」「エコハウス&エコビルディング EXPO」「加工技術展」の7つに分けて、27か国から1,950社が出展を行い、最新の家庭用燃料電池、燃料電池自動車、太陽光発電システムなどを紹介した。会期中、会議棟では全246件の専門セミナーも開催された。経済産業省の小見



(左) 講師の小見山康二・資源エネルギー庁燃料電池推進室長
(中) 講師の古川一夫・NEDO理事長
(右) 連日満席となったセミナー会場

山康二氏やNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の古川一夫氏による基調講演のほか、電力会社、石油会社、重電会社によるメーカーやユーザー向けセミナーが行われた。3日間の来場者数は、展示会とセミナーの合計で93,497人に及んだ。主催者はリード エグジビジョン ジャパン株式会社。

基調講演の中で、小見山氏は、水素ステーションの普及や燃料電池自動車の実用化に向けた政府の取り組みを説明し、最新の固体酸化物形燃料電池(SOFC)システムを用いた産業用発電プラント研究開発事業を紹介した。一方、古川氏は、日本の優れた創エネ、省エネ、蓄エネの個別技術のパッケージ化を図り、インフラ・システムとして輸出振興を図るため産業界との協働を提唱した。



家庭用燃料電池エネファームの実機展示

第68回自家発電設備 認証委員会審議結果

サーベイランス

申請者等	対象品目	認証番号	登録形式	有効期限
JFEエンジニアリング(株)	鶴見製作所 常用防災兼用発電装置	K-C-75	4形式	H26.2.28
三菱電機(株)	長崎製作所 防災用自家発電装置	B-D-22 B-T-22	33形式 9形式	H27.11.6
日本車輛製造(株)	鳴海製作所 防災用自家発電装置 可搬形発電設備	B-D-30 R-D-30	32形式 2形式	H25.12.21 H27.12.18
三友工業(株)	小牧工場 防災用自家発電装置	B-D-100	4形式	H25.11.3

は、定められた非常用発電設備の設置工事を行う場合、作業員に対し特種電気工事資格者の資格の取得を義務づけており、この資格を取得するためのもの。「発電設備の保安に関する法令」「発電設備の基礎・検査方法」「発電設備の工事の施工方法等」のテキストの内容に沿って講義が行われた。

人事異動

平成24年2月 ◆株式会社シンワ ▼取締役会長(取締役社長)小又陽吉 ▼取締役社長(専務取締役)小又一史

特種電気、53名が受講

去る2月2日(木)、東京都千代田区神田駿河台の総評会館において、「平成23年度特種電気工事資格者(非常用予備発電装置工事資格者)認定講習」が、53名の受講者を対象に実施された。この講習会の運営は、毎年度、(財)電気工事技術講習センターから委託されて内発協が実施している。電気工事士法で